

1) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。

2) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とのダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

3) 人々の多様な価値観を認識し専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

- ・知識の中から何かを生み出す力
- ・倫理性
- ・人間性育成のベースとなるもの

- ・生活・心身両面から状況を判断する力

- ・知識の中から何かを生み出す力
- ・自分が考えていることを伝えられる能力
- ・コミュニケーション能力
- ・対人関係能力
- ・最新の医療技術
- ・人間性育成のベースとなるもの
- ・人間性
- ・倫理性
- ・自主的に勉強し続けられる力
- ・知識を文脈を持ってストーリーとして読む力

看護師教育の基本的考え方と 第1回検討会における委員の主な意見

- ・医学的基礎力
- ・フィジカルアセスメント力
- ・病態生理学
- ・看護過程展開力
- ・判断力
- ・エビデンスに基づいた個別的な看護の提供
- ・研究を臨床や現場に活かす能力
- ・問題を研究的に捉えて解決する力

- ・地域でのコミュニケーション
- ・保健の分野 予防的視点

- ・判断力
- ・緊急時の対処能力
- ・地域のネットワークの活用や地域支援の理解
- ・パートナーシップ

4) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。

5) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

6) 保健・医療・福祉制度を他職種との役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。

その他

その他

- ・臨床実践の楽しさ面白さ

- ・臨機応変な対応ができる能力